

# 運輸安全への取り組み

## 基本的考え方

日本郵便(株)は、経営トップ自ら安全衛生の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員が安心して働ける健全な職場の実現に向け、一丸となって取り組んでいます。

具体的には、「安全衛生に関するマネジメント体制の維持・改善・向上」、「法令及び社内規程の遵守」、「集配、渉外活動中及び局内作業の安全衛生確保に向けた取組強化」、「安全衛生確保に関する全社員に対する教育の実施及び効果検証・改善」を行っています。

## 取り組み内容

### 普段の取り組み

毎日、危険感受性を高めるため、実際の配達現場の写真等を見てどんな危険が潜んでいるかイメージする「危険予知トレーニング(SKYT)」と二輪は一本橋を所定の時間以上で走行、四輪は二本線の片方のラインからはみ出ないように走行し、停止ラインの前で停止する「日常訓練」を実施したのち、配達・集荷の業務に向かっています。

また、年1回以上、添乗・随伴による、郵便局外での運転の状況を確認し、指導を行う等、定期的な安全教育を行っています。

### 安全運転指導員リーダーの配置

日本郵便(株)では、集配を受け持つ郵便局に安全運転技術指導を担う安全運転指導員を配置しています。

同指導員のレベルアップを図るため、指導者に求められる二輪車及び四輪車の高度な運転技能等専門的な知識等を競う「安全運転指導員リーダー等コンテスト」を開催しています。(2017年度は二輪、四輪各62名の合計124名が参加)



安全運転指導員リーダー等コンテスト



日常訓練の様様

## 運輸安全に係る目標値及び実績値

目標	重大事故発生件数	0件
達成状況	2017年度	2件(死傷事故1件、車両故障1件)

東京2020オリンピック・パラリンピックをサポート

日本郵政(株)は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020スポンサーシッププログラム」における「東京2020オフィシャルパートナー(郵便)」契約を締結し、東京2020オリンピック・パラリンピックをサポートしています。



東京2020オフィシャルパートナー(郵便)

今後も、東京2020大会の成功及び東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表選手団の活躍のために貢献して参ります。

平昌2018冬季大会日本代表選手 メダリスト公式フレーム切手の販売

2018年2月から3月にかけて開催された平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会において、メダルを獲得した日本代表選手の表彰式の翌々日に、メダルを獲得した選手のフレーム切手(平昌2018冬季大会日本代表選手 メダリスト公式フレーム切手)を、全国10カ所の中央郵便局等で発売し、大変ご好評をいただきました。

発売したフレーム切手は、平昌2018オリンピック冬季競技大会で13種類、平昌2018パラリンピック冬季競技大会で10種類の合計23種類となりました。

※日本郵便はJOC・JPCオフィシャルパートナー(郵便)です。



JOC公式ライセンス商品  
©JOC/TOKYO2020



JPC公式ライセンス商品  
©JPC/TOKYO2020

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への協力

日本郵便(株)では、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施している「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に賛同し、2017年9月に、日本全国の郵便局で更改となる携帯電話約3万台を東京2020大会のスポンサー第1号として提供しました。

また、2018年3月から、全国約3,000の郵便局に、使用済み携帯電話の回収箱を設置し、お客さまの協力を呼びかけています。

